

登記・供託オンライン申請システム 研修会資料

平成22年11月作成
株式会社リーガル

【ご注意】

この資料は平成23年2月14日から開始されます『登記・供託オンライン申請システム』について、平成22年11月現在の法務省からの公開情報に基づいて作成されたものです。今後『登記・供託オンライン申請システム』の開始までの間、および開始後においても、内容や取扱いが変更される可能性がありますので、最新の情報をホームページなどでご確認の上、新オンライン申請をご利用くださいますようお願い申し上げます。

目次

I 『登記・供託オンライン申請システム』(新オンライン申請システム)の概要

II 現行オンライン申請システムと新オンライン申請システムの違い

III 新オンライン申請システムの環境構築

- 1、パソコン、OS、基盤ソフトウェア、電子証明書等
- 2、ドットネットフレームワークの確認とインストール(XPをご利用の方)
- 3、政府共用認証局電子証明書の登録確認とインストール(全ての方が対象となります)
- 4、申請用総合ソフトのインストール(全ての方が対象となります)
- 5、『登記・供託オンライン申請システム』の利用者登録(全ての方が対象となります)
- 6、『登記・供託オンライン申請システム』準備品一覧

IV 新オンライン申請システムでのオンライン申請の手順

- 1、オンライン、オフライン起動
- 2、オンライン申請書情報の作成
- 3、登記識別情報提供様式の実行
- 4、添付情報
- 5、電子署名
- 6、連件設定、送信、到達
- 7、受付
- 8、納付
- 9、補正
- 10、電子公文書受領
- 11、添付情報内訳表、印紙納付用紙
- 12、バックアップと復元
- 13、受付代行システム
- 14、申請用総合ソフトの共同運用について

V 切替のタイムスケジュール

VI 移行に際してのご注意

- 1、現行システムとの並存(電子公証、成年後見、供託オンライン申請)
- 2、切替前後の申請の取扱(仕掛中事件の継続処理)
- 3、2月14日以降の申請データの作成について
- 4、現行システムの交付済み電子公文書の取得について
- 5、現行システムでの電子的登記識別情報の受領(申請)
- 6、現行システムで受領した電子的登記識別情報の再暗号化・表示

VII 新オンライン申請に向けた準備

VIII 民間ベンダーソフトを利用した新オンライン申請システム

- 1、法務省の全面的な仕様公開
- 2、新システムでの民間ソフトを利用したオンライン申請イメージ

II 現行オンライン申請システムと新オンライン申請システムの違い

現行オンライン申請システム	新オンライン申請システム
1、環境構築・維持の手間が軽減	
<p>環境構築やJAVAの更新・申請書作成支援ソフトの更新など維持が大変</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> ① ユーザ登録 ② 政府共用認証局自己署名証明書の確認 ③ オンラインセットの取得 ④ JREのインストール、アップデートの停止 ⑤ オンライン申請システムモジュールのインストール ⑥ 自己署名証明書のJREのキースタへの登録 ⑦ 登記申請書作成支援ソフトのインストール ⑧ IEポップアップブロック、信頼済みサイト各種設定、全角アカウント不可 </div> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">8 STEP</p>	<p>環境構築・維持が簡単、申請用総合ソフトは自動的バージョンアップで手間要らず</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; background-color: #e0ffe0;"> <ol style="list-style-type: none"> ① ユーザ登録 ② 政府共用認証局自己署名証明書の確認 ③ 申請用総合ソフトのインストール </div> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">3 STEP</p> <p>※PCのOSが、WindowsXPの場合は、Microsoft社のドットネットフレームワーク3.0以上へとアップデートが必要となる場合があります(WindowsVista以上は不要)。</p>
2、法務省へダイレクト申請	
<p>ローカルにインストールした申請書作成支援ソフトでの作業とWebブラウザ上での電子署名・送信・処理状況の確認が必要で面倒</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>インターネット</p> <p>申請書作成支援ソフト → 法務省オンライン申請ホームページ → 現法務省オンラインシステム</p> </div>	<p>ローカルにインストールした申請用総合ソフトで申請情報の作成から電子署名、送信・受付・納付・補正・電子公文書の受領まで全ての作業が可能なので便利</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>インターネット</p> <p>申請用総合ソフト ↔ 新登記・供託オンラインシステム</p> </div>
3、データの一元管理	
<p>申請情報を自分でフォルダ作成し管理するのが大変</p> <ul style="list-style-type: none"> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月不動産登記 <ul style="list-style-type: none"> No123 所有権移転売買(甲野 東西銀行) <ul style="list-style-type: none"> No123-1 移転 No123-2 設定1 No123-3 設定2 No124 所有権移転売買(山田 東西銀行) No125 所有権移転売買(斉藤 東西銀行) No126 所有権移転相続(加藤) No127 所有権保存(井上 村上不動産) 平成20年2月不動産登記 <ul style="list-style-type: none"> No128 所有権移転売買(甲野 東西銀行) No129 所有権移転売買(山田 東西銀行) No130 所有権移転売買(斉藤 東西銀行) No131 所有権移転相続(加藤) No132 所有権保存(井上 村上不動産) 	<p>申請用総合ソフトで申請・添付・公文書情報を一元的に管理できるので簡単。バックアップも可能なので安心。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>申請用総合ソフト</p> </div> <p style="text-align: right; font-size: 1.5em;">5</p>

現行オンライン申請システム



新オンライン申請システム

4、利用時間延長

利用時間 AM8:30~PM8:00

利用時間延長 AM8:30~PM9:00 オフライン作業は24時間可

5、書式数の増加

申請様式数が少なく追加・修正が大変

	申請書	嘱託書	合計
不動産(表示)	19	2	21
不動産(権利)	29	3	32
不動産その他	7	—	7
商業・法人	6	6	12
商業・法人その他	2	—	2
債権・動産	2	—	2
合計	65	11	76

申請様式数が増えて便利

	申請書	嘱託書	合計
不動産(表示)	50	49	99
不動産(権利)	68	22	90
不動産その他	8	—	8
商業・法人	16	10	26
その他	11	—	11
債権・動産	12	—	12
合計	165	81	246

6、入力支援機能の充実

同じ情報を何度も手入力しなくてはならず手間

申請書情報入力画面

登記識別情報提供様式入力画面

入力支援機能の装備、同一情報の転記機能も装備され便利

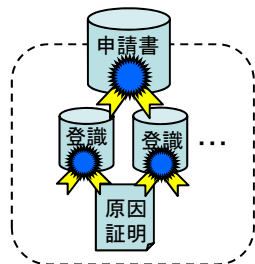
申請書情報入力画面

登記識別情報提供様式入力画面

名義人氏名、住所、登記の目的、物件所在、地番、家屋番号反映

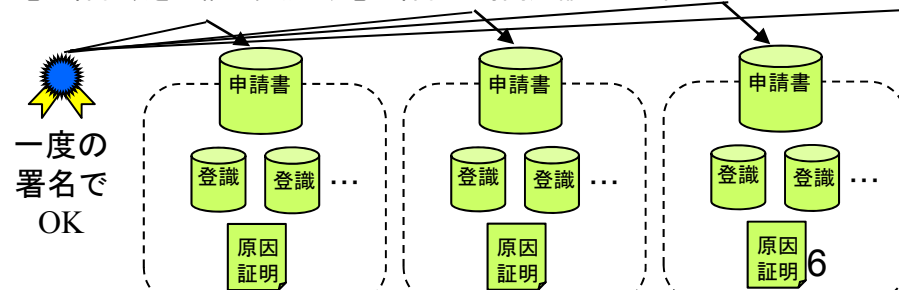
7、電子署名数の軽減・時間短縮

電子署名数が多く、電子署名に時間がかかって大変



× 連件数 = 署名数

電子署名数を大幅に軽減し、電子署名は時間短縮されて楽



現行オンライン申請システム

新オンライン申請システム

8、受付のお知らせの新設

受領証代替書類の作成が手間



申請書情報印刷

受付のお知らせを印刷

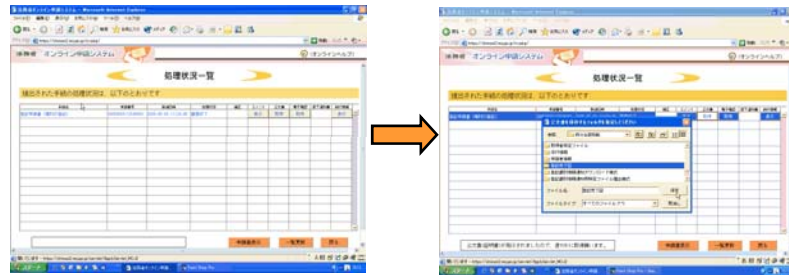
受付のお知らせ通知(登記官の印は無し)が印刷でき便利



受付のお知らせ
+
申請書
一体化印刷

9、電子公文書取得管理機能

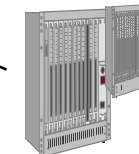
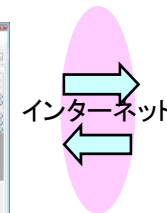
電子公文書のダウンロード保管が手間



処理状況確認画面にアクセス

申請人のPCIに保管

電子公文書を自動的にダウンロードし申請用総合ソフトに保管されるので便利



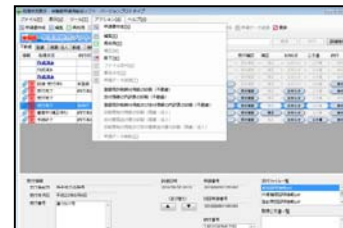
新登記・供託
オンラインシステム

申請用総合ソフトで確認しダウンロードして自動保管

10、添付情報内訳表、印紙納付用紙の作成機能

該当機能無し

添付情報内訳表(規則別記13号様式)、印紙納付用紙まで作成可能なので便利



送信済み事件を指定して印刷



添付情報内訳表



登録免許税納付用紙

現行オンライン申請システム



新オンライン申請システム

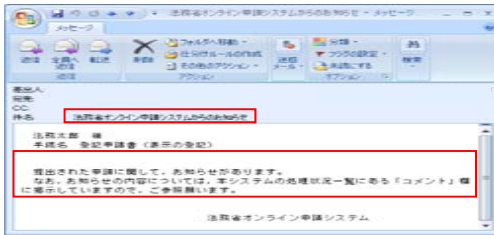
11、各種容量拡大

1申請事件の容量が4MBしかない
添付ファイル数は50個
登記事項証明書請求件数 10物件/会社・法人

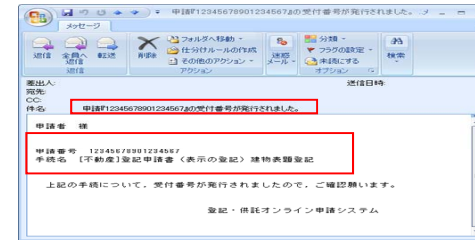
1申請事件の容量が10MBまで拡大
添付ファイル数も1500個まで拡大、連件は50件まで
登記事項証明書請求件数 99物件/会社・法人(申請用総合ソフト利用時)

12、メール通知の改善

処理状況お知らせメールが事件の特定ができないため利用しにくい



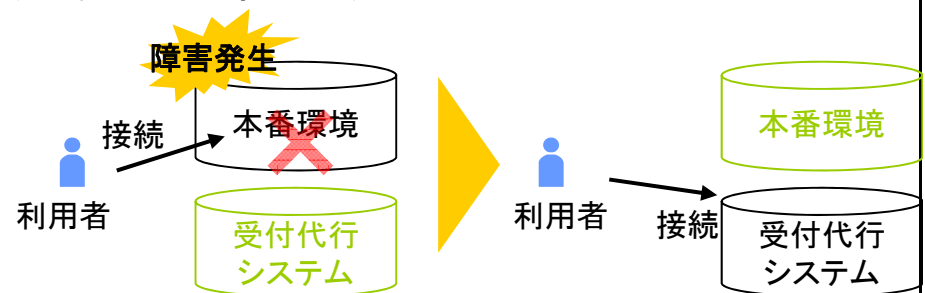
メールで事件の特定と内容の確認が可能になるので使える。また必要なメールのみ受信設定が可能なので便利。



13、受付代行システムの新設

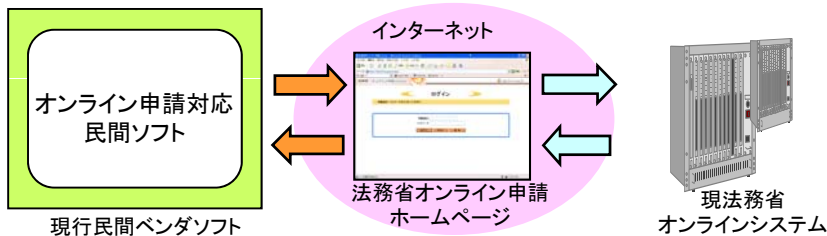
システム障害時に代替システムがないため不安

受付代行システムが導入されて安心

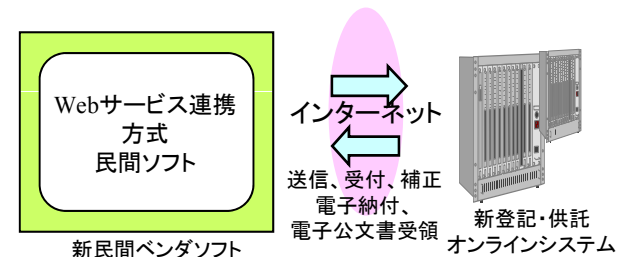


14、民間ベンダーへの仕様公開拡大

民間ベンダソフトへの仕様公開が一部に限定
オンライン申請全体で見れば法務省の方式と大して変わらない



全面的に仕様公開され、民間ベンダソフトで申請情報の作成から送信、電子公文書の受領まで全てが完結



Ⅲ 新オンライン申請システムの環境構築

1、パソコン、OS、基盤ソフトウェア、電子証明書等

■申請用総合ソフト(ローカルにインストールした専用ソフト)を利用する場合

■ハードウェア	
CPU	800Mhz以上(推奨)
メモリ	1GB以上(推奨)
■ソフトウェア	
OS(オペレーションシステム)	WindowsXP(SP2必須SP3を推奨), Vista, 7それぞれの32bit版(必須) (windows2000は対象外となります)
ブラウザ	InternetExplorer7,8(推奨)
PDF表示	Adobe Reader9(必須)
■その他	
ディスプレイ	1024×764以上(必須)
FW(フレームワーク)	ドットネットフレームワーク3.0もしくは3.5SP1(必須)
法務省ソフトの実行 に必要な基盤ソフト	※ Windows Vista、7には対象バージョンが最初からインストールされています。 ※ Windows XPをご利用の方はインストールが必要です。 ※ Windows XPであっても既に他のソフトでドットネットフレームワークの対象バージョンを利用している 場合はインストールが不要なこともあります。 ※ ドットネットフレームワーク4のみではご利用いただけません。
ハードディスク	300MB以上の空容量(必須)
■電子証明書	司法書士認証サービス(日本司法書士会連合会)、日本土地家屋調査士会連合会認証サービス、 公的個人認証サービス、商業登記に基づく電子認証等 ※ 従来の電子証明書、ICカードR/W、ドライバソフトもそのままご利用いただけます。OSや機材を 変更される際はICカードの対応OSおよびドライバソフトの入替が必要になる場合もあります。

■かんたん証明書請求(Webブラウザ)を利用する場合

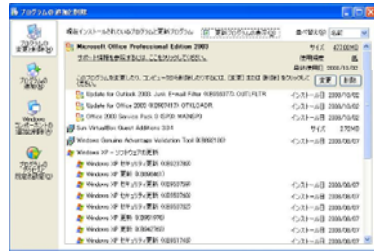
- OS(オペレーションシステム) : WindowsXP(32 bit版), Vista(32bit版及び64bit版), 7(32bit版及び64bit版)
ブラウザ : InternetExplorer6, 7, 8
※ 電子署名を要しませんので、電子証明書およびICカードR/W、ドライバソフトは不要です。

2、ドットネットフレームワークの確認とインストール (WindowsXPをご利用の方)

(ご注意)

WindowsXPであっても、他のソフトウェアの関係上、既に3.0もしくは3.5SP1がインストールされている場合は、(2)以降の作業は不要です。平成23年1月17日(月)より法務省の『登記・供託オンライン申請システム』ホームページに.NET Framework 3.5 Service Pack 1へのリンク先が公開される予定です。

(1)ドットネットフレームワークの有無およびバージョンを確認する。



「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選択し、インストールされている「Microsoft .NET Framework」のバージョンを確認してください。XPであっても、他のソフトウェアの関係上、既に3.0もしくは3.5SP1がインストールされている場合は、(2)以降の作業は不要です。
 なお、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1はWindows XP SP2以上が動作条件となります。XP SP2は既にサポート対象外ですのでXP SP3での運用をお勧めします。

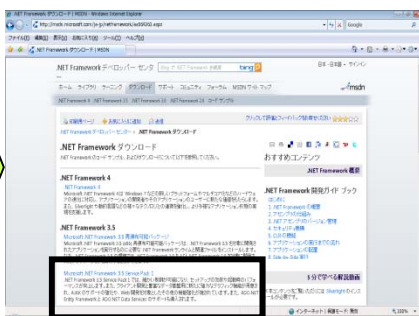
(2)ドットネットフレームワーク3.5SP1をダウンロードする。



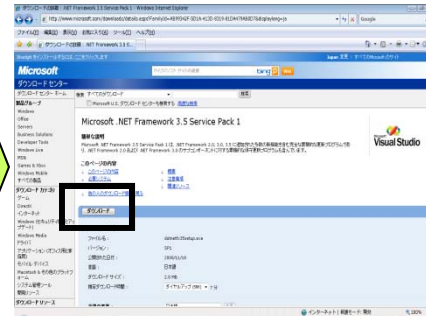
法務省の切替準備ページ(P47参照)から登記・供託オンライン申請システム体験版申請用総合ソフト(β版)ダウンロードコーナーを開く

※ ご利用のPCのOSがWindows XPで、Microsoft社のドットネットフレームワーク3.0又は3.5 Service Pack 1がインストールされていない場合(コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から確認できます。)は、Windows Update 又 Microsoftのウェブサイトからドットネットフレームワークを入手する必要があります。

「Microsoftのウェブサイト」をクリック



「.NET Framework 3.5 Service Pack 1」を選択



画面中央部の「ダウンロード」ボタンを押す



パソコンに保存する

左記手順は法務省ホームページの登記・供託オンライン申請システム体験版申請用総合ソフト(β版)ダウンロードコーナー経由マイクロソフトディベロッパーセンターから「.NET Framework 3.5 Service Pack 1」をダウンロードする方式です。

平成23年1月17日から公開される法務省「登記・供託オンライン申請システム」のホームページからも「.NET Framework 3.5 Service Pack 1」ダウンロードページへのリンク先が表示される予定ですので、そちらをご利用いただくことも可能です。